

日本共産党議員団ニュース

【No.544】 日本共産党伊勢原市議員団 2019年7月7日

宮脇俊彦 94-7584 Email:jcp.isehara.miyawaki@gmail.com

川添康大 74-6362 Email:yasuhiro.k120@gmail.com

事務所 TEL・FAX：93-1169

HP：http://isehara.kir.jp/kyou01.html

池端通学路グリーンベルト設置約束

6月7日より開催された、伊勢原市議会6月定例会議。26日に宮脇俊彦議員が行なった一般質問の内容を報告します。(要旨)

まず「小学生の通学路安全確保」について質問。

質問・・・市道2号線、池端868付近(3年位前に16軒の宅地が造成開発された場所)からの通学路です。自宅からグリーンベルトのない片道1車線の道路の端を約600m歩かなければグリーンベルトのある道路に到達しません。この通学路が子供たちの通学にとって危険だと認識を持っていますか。

回答・・・危険だと認識しています。

質問・・・学校が保護者や地域の皆さんと行った「通学路点検」でも学校から「改善要望書」が提出されています。自治会からも安全対策を求める要望が出されています。すでに、保護者と市の教育委員会、交通防犯課、道路整備課の話し合いも持たれましたが、対応が明確になっていません。市としてどうするつもりですか。

回答・・・検討中です。

質問・・・小学生が昨年度は3名、今年度は2名が通学しています。3年後は11名が通学予定です。道路の幅は、道路標識のある場所では70センチメートルしかありません。雨天時は傘の幅もありません。早急の対応の対応が必要ではありませんか。

回答・・・早急に対応が必要と判断しています。グリーンベルトの設



置を行います。

コメント・・・グリーンベルトの設置を市は約束しました。地域の皆さんが声を挙げた成果です。まだ、実施時期が明らかになっていません、引き続き声を挙げ続けましょう。**コメント**・・・

下小稲葉、「横断歩道設置」を要望

続いて、下小稲葉の2136地点、市道4線(両側に住宅が造成され約40軒の住宅が新築されている場所)の「横断歩道」設置の要望です。この件について質問しました。



質問・・・この場所が危険との認識を市は持っていますか。

回答・・・危険な個所と認識しています。

質問・・・地域住民からの要望はどうなっていますか。

回答・・・2017年12月に自治会長、子供会会長、地域住民、小学校校長より「横断歩道設置」の要望書が市長、警察署長宛てに提出されています。翌年3月に要望提出の方々と市役所担当課、警察が現地で設置場所について話し合いが持たれました。4ヶ月後、警察より「隣の横断歩道との距離が100m離れてないので設置無理」との回答があった。

質問・・・100m以内の「横断歩道」設置は市内にはないのか。今年3月に小稲葉の上谷地区に横断歩道が新設されたが、ここは既存の横断歩道と93mしか離れてない。成瀬地区の「ふたば保育園」前の横断歩道は既存の横断歩道と64mしか離れてない。つまり特段の理由があれば設置は可能ではないか。市は小学生の安全確保のために横断歩道設置を警察に要請するつもりはないのか。

回答・・・横断歩道設置の個別判断は警察が行なっている。

質問・・・市が横断歩道の設置が無理と判断するのであれば、小学生の通学の安全確保のため、横断歩道設置要望ヶ所の手前にある「黄金橋」の大山側に歩道を設置すべきではないか。このまま、放置放置すると事故の発生につながりかねません。市長に見解を伺いたい。

回答(市長)・・・指摘のあった場所に「横断歩道設置」の要望が出ていることは知っています。安全対策については優先順位をつけながら取り組んでいます。この



件については引き続き警察に対し要望を続けていきます。

コメント・・・下小稲葉の皆さんの取り組みにも関わらず、横断歩道設置の要望は認められていません。市長からは、引き続き警察への要望は続けるとの回答がありました。横断歩道設置がだめな場合、黄金橋の北側に歩道を設置するよう要望をすることも必要ではないでしょうか。

下粕屋の通学路改善の要望

下粕屋2341「近藤商会」と2348番地の間の道路の問題です。成瀬小学校の通学路にもかかわらず、近藤商会側の狭い道路を小学生が通学しています。この件を質問しました。

質問・・・この道路を危険と認識していますか。

回答・・・危険な個所と認識しています。

質問・・・どう危険改善を行いますか。早期の対応が必要ではありませんか。

回答・・・近藤商会前の市道58号線については、成瀬小学校から100mのところまでは歩道が確保されました。残りの部分は狭くガードレールの設置はできません。グリーンベルトの設置検討しています。

コメント・・・子供の安全確保のため早急の解決ができるよう引き続き改善を求めていきます。

教育委員会は通学路の安全確保に責任をもつ

今回「通学路の安全確保」の問題を質問しました。毎年地域の皆さんの通学路点検活動を通じて、ここ3年間、135件から182件の改善要望が学校から教育委員会に提出されています。一方、その要望に対して回答が先送りされている件数が毎年17件から20件もあるとのことが6月議会で明らかになりました。

質問・・・通学路の安全確保は、将来を担う子供たちの命を守る大切な課題です。この問題の最終的責任者は誰ですか。

回答・・・通学路安全確保の最終的責任は教育委員会にあります。他部局と連携をとりながら安全確保に取り組んでいきます。

コメント・・・すぐに解決につながらない課題も解決に向け教育委員

会が責任をもって取り組みを進めていただきたい。

5月21日の豪雨時の対応について

5月21日に豪雨がありました。その時の対応について質問しました。

質問・・・大雨・洪水対応状況の報告書によると、

総雨量は

大山 147,5ミリ

善波 142,5

消防本署125,0

成瀬中 117,5 でした

時間最大雨量は

成瀬中 23,5ミリ

大山 22,0

善波 20,5

本署 19,5 でした



総雨量・時間最大雨量、いずれも大きな降雨ではなかったといえると思いますが、しかし、歌川は避難判断推移を超過しました。なぜ、大きな降雨ではないにもかかわらず、歌川は避難判断推移を超過したと判断していますか。

回答・・・歌川は総雨量の関係で避難判断推移を超過したと判断される。今後、今回の結果を踏まえ対応していきたい。

暮らしどうなる、参院選挙始まる

7月4日公示、21日投票で参院選挙が始まりました。「年金で私たちの暮らしを守ることができるのか」「消費税10%引き上げで暮らしが守れるのか」「憲法9条を改憲してよいのか」。こうした問題が問われる大切な選挙。投票率は低下傾向が続いています。棄権することは、現政権への白紙委任につながります。各候補、政党がどういう政策を掲げているか。日頃の言動と政策が一致しているのか。しっかり判断して主権者としての大切な一票を行使しましょう。投票は小さな一歩ですが大きなうねりとなる可能性があります。チャンスです。(宮脇俊彦)

